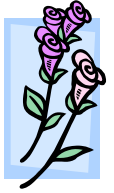


尋常性白斑



皮膚の色が徐々に抜け始め、完全に白くなり白いしみのようにになります。“しろなます”とも言われます。

1. **原因**：はっきりとした原因は不明です。自己免疫(自分の皮膚の色の細胞を自分自身で攻撃してしまう)的な原因があるのではとされています、
2. **症状**：皮膚の色が白く色が抜けます。関節の部分や腰回りなど外的な刺激を受ける部分は白く抜けやすいとされるケブネル現象があります。洋服など注意しましょう。
3. **検査**：甲状腺の病気や、貧血などがあることがあります。これらは採血で確認ができます。
4. **当院でできる治療**：
 - (ア) **塗り薬**：白くなり始めの時はステロイドの塗り薬が効果的なことがあります。その他の塗り薬も効果があることがあります。
 - (イ) **光線療法**：ナローバンド UVB を当て皮膚の色が出てくることがあります。1週間に 1~2 回、30 回ぐらい当てると効果が出始めます。
5. **他院ご紹介する治療方法**：
 - (ア) **光線療法**：当院ではナローバンド UVB のみが治療可能ですが、他に紫外線 A を当てる PUVA(プバ)療法、紫外線 B の波長内の 308 ナノメートルを当てるエキシマライトでも効果があります。
 - (イ) **手術療法**：分節型(体の半分のみに行えるタイプ)は皮膚の移植(ご自身の皮膚を白くない部分から持ってくる方法)という外科的な治療方法もあります。
 - (ウ) **カバーマーク**：お化粧品などで隠すというのも一つの方法です。